

郡山市制施行100周年記念

NHK交響楽団

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

郡山公演

N響



指揮者:秋山和慶

ピアノ:アレクサンダー・ガジェヴ ©Andrej Grlic



管弦楽:NHK交響楽団

2024年 **7/7** 日 14:00 開場
15:00 開演

けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)大ホール

入場料 一般**7,000**円 高校生以下**3,500**円 (全席指定)
(税込) ※高校生以下、車椅子席はけんしん郡山文化センターのみで取り扱い。
【障がい者割引制度】 介助の同伴を必要とする障がい等級1級程度の方対象(2枚組での販売)

プレイガイド けんしん郡山文化センター/うすい百貨店(5階プレイガイド)/ローソンチケット(Lコード: 22876)
CNプレイガイド/みゅーあい郡山(郡山市勤労者互助会 ※会員限定販売)

入場券発売日/4月20日(土) 午前10時~

※みゅーあい郡山(郡山市勤労者互助会)の発売日は、会員に直接連絡いたします。

電話予約/4月20日(土) 午後2時~

※けんしん郡山文化センターのみの受付となります。 ※窓口販売後の残席からのご予約となります。
※予約初日(4月20日)は、座席指定はお受けできません。座席は係員が指定した席となりますので、予めご了承ください。
※ご予約いただいた入場券のお取り置き期間は10日間です。10日以内にご来館いただくか、お手数でも現金書留にて送付先まで送金願います。

【送付先】〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号 けんしん郡山文化センター「N響」係

主催:公益財団法人郡山市文化・学び振興公社(郡山市民文化センター指定管理者)

後援:福島民報社/福島民友新聞社/福島テレビ/福島中央テレビ/福島放送/テレビユー福島/ラジオ福島/ふくしまFM/郡山コミュニティ放送

お断り・お願い:未就学児のご入場及び乳幼児のご同伴はお断りいたします。 太陽メンテナンス麓山立体駐車場(郡山市麓山地区立体駐車場)は、イベント開催時、混雑が予想されますのでご注意ください。



プログラム

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲 第3番
ハ短調 作品37

ブラームス
交響曲 第4番 ホ短調 作品98

※出演者・曲目が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

お問い合わせ先



☎024-934-2288

けんしん郡山文化センター 検索
けんしん郡山文化センターウェブサイト▶
✉ kc-center@bunka-manabi.or.jp



この印刷物はFSC®認証紙です。紙リサイクル可。

N 郷音

NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo 郡山公演

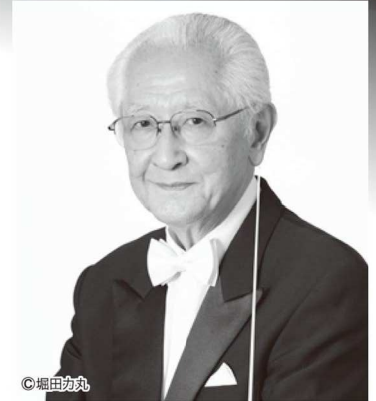
秋山和慶 Kazuyoshi Akiyama [指揮]

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキース響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。また、NYフィル、ボストン響、クリエグランド管、シカゴ響、フィラデルフィア管、スイス・ロマン管など世界の一流オーケストラに客演している。

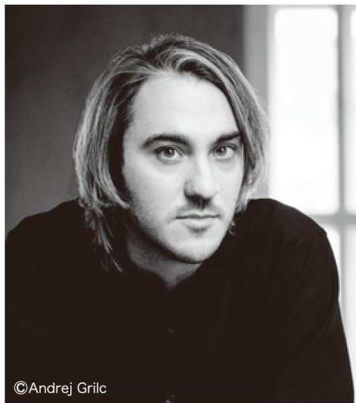
これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞、京都音楽賞大賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

2024年指揮者生活60周年を迎えた。



©堀田丸



©Andrej Grlic

アレクサンダー・ガジェヴ Alexander Gadjević [ピアノ]

2015年 第9回浜松国際ピアノ・コンクールで優勝および聴衆賞を受賞。

2018年 モンテカルロの世界・ピアノ・マスターズで優勝。

2021年7月シドニー国際ピアノ・コンクールで優勝。

2021年10月、第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位及びクリスチャン・ツィメルマン賞(ソナタ最優秀演奏賞)を受賞。

ゴリツィア(イタリア)でピアノ教師である両親のもとに生まれる。9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを開いた。17歳で優等な成績をおさめ学位を取得したことで、イタリアの教育機関で最高評価を得た若手音楽家だけが競うコンクール「プレミオ・ヴェネツィア」(2013年)への出場を許され、覇者となった。その後2015年から現在まで出場するコンクールでは、ほぼすべて優勝している。2019年にはBBCニュー・ジェネレーション・アーティストに選ばれた。

これまでルイージ指揮/RAI国立響、ゲルギエフ指揮/マリンスキー劇場管、ボレイコ指揮ワルシャワ・フィルをはじめ、指揮者ではテミルカーノフ、ヴァイト、井上道義、高関健、山田和樹らと共演している。今後はハレ管、ミラノ・ヴェルディ響などと共演を予定。

音楽祭への参加も多く、ヴェルビエ音楽祭やオールドバラ音楽祭などに参加している。

NHK交響楽団 NHK Symphony Orchestra, Tokyo [管弦楽]

1926年10月に新交響楽団の名称で結成。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなり、NHK交響楽団と改称。以来、今日に至るまで、世界一流の指揮者を次々と招聘、話題のソリストたちとも共演し、歴史的な名演を残してきた。2013年8月、ザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春にはヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも

高い評価を得ている。現在、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏はNHKの放送を通じて国内外に広く紹介されている。また社会貢献活動として、全国の学校を訪問する「NHKこども音楽クラブ」、被災地や病院に安らぎと元気を届ける室内楽コンサートなど、多彩な活動を行っている。

